

第9回宝塚市手話言語施策推進会議 議事録

日時：令和3年2月18日（木）18：30～19：30

場所：宝塚市役所3階 特別会議室

【次第】

- 1 令和2年度事業報告について
- 2 宝塚市手話言語講演会（オンライン講演会）（令和2年11月）の報告について
- 3 宝塚市手話月間について
- 4 第3回宝塚市手話言語発表会について
- 5 その他

【配付資料について】

- ・資料1 令和2年度事業報告について
- ・資料2 令和元年度宝塚市手話月間（実績）
- ・資料3 第8回宝塚市手話言語施策推進会議 議事録

【出席者】

委員 関西学院大学人間福祉学部非常勤講師 平 英司
宝塚市手話サークル連絡会 会長 田中 準子
宝塚市難聴言語障害児親の会 理事 西田 恵津子
宝塚ろうあ協会 手話対策部長 加藤 めぐみ
宝塚市教育委員会事務局 特別支援・人権教育担当副課長角谷 純子代理
同担当次長 美除 浩
(庁内関係者) 赤井健康福祉部長、他

【欠席者】

宝塚市身体障害者福祉団体連合会 会長 志方 龍
宝塚商工会議所 中小企業相談所 所長 胡中 美伸
宝塚市教育委員会事務局 特別支援・人権教育担当副課長 角谷 純子

※順不同

【協議録】

(事務局)

お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

本会議の主旨を改めて説明します。本会議は、宝塚市手話言語条例第6条の規定に基づき、市が推進する施策の実施状況、見直し等について、広く市民や事業者、知識経験者の方々にご意見をお聞きするため開催します。

(委員)

新型コロナウイルス感染症のために、いつもは2時間でしたが、1時間の会議にします。よろしくお願ひします。

(1) 令和2年事業報告について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

ただ今新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言中で、短時間で必要な議論をしていただくため説明を省略します。資料1をご確認ください。

(委員)

(2) 宝塚市手話言語講演会（オンライン講演会）（令和2年11月）の報告を事務局からお願いします。

(事務局)

前回の会議でオンラインでの講演会の実施を検討することになり、約20分間の動画を作成し、You tubeの形で市のホームページにリンクさせました。今日まで2,900回を超える再生回数となっています。皆さまご協力いただきありがとうございます。

(委員)

(3) 宝塚市手話月間について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料2をご覧ください。昨年度の実績をまとめた表です。

昨年度から手話月間を3月に実施することになりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のために「手話を学ぼう！」として実施した「手話学習」は途中で中止するなど、すべてを実施することができませんでした。今年度も同様にすべてを実施することは困難だと考えています。

手話啓発「手話のことを知ろう！」として手話に関する図書や資料等を展示することは実施予定です。既に市立図書館への打診は済んでいます。昨年度は市役所の1階市民ホールで展示をしましたが、今年度、そのスペースは使用出来ませんので、グランドフロアの展示コーナーで実施する予定です。昨年「手話学習」をした場所です。

「手話学習」は昨年度、1回でも実施してよかったと思っていますが、対面で行うこと、また、密になる可能性が高いことを考え、今年度は見送らせていただくつもりです。

市内グループウェア「ライブラリ」、ホームページでの手話動画掲載、「手話を学ぼう！」の出前講座、「手話にふれよう！」のテレビモニターでの手話動画、障碍（がい）福祉課での朝礼で手話を学ぶについては、すでに継続して実施しています。

今年度も途切れることなく手話月間を実施する考えです。今年度はできることが限られています。来年度に向けてのアイデアをいただいて、準備に時間が必要なものがありましたら、今回いただいたご意見をもとに、次回の会議で固めて来年度の手話月間に活かしたいと思っています。

(委員)

対面での手話学習は、今の新型コロナウイルス感染症の状況下では私たちも心配な部分がありますので、中止もやむを得ないと思います。

確認ですが、展示はグランドフロアとのことですが、らせん階段のところですか？

(事務局)

らせん階段の下のところです。前回「手話学習」をした場所です。

(委員)

現在、手話サークルは夜のサークルは休み、昼のサークルも短めで行っています。本当は新型コロナウイルス感染症に関しての展示が出来れば良いと思いましたが、集まることができない状況なので、昨年展示した物を再利用し、破れた箇所を補修して展示することならできると思います。大学で聞こえない人用の新型コロナウイルス感染症対策の研究とかしていませんか？

(委員)

特に研究はしてはいませんが、そのテーマで何かを作ることはできると思います。どのくらいの分量を作れば良いですか？

(委員)

模造紙 1~2 枚くらいでしょうか。

(委員)

いつまでに作れば良いですか？

(事務局)

2月26日の夕方に展示をしようと思っていますので、それまでにお願いします。

(委員)

その前に内容の確認が必要ですよね。パワーポイントで作れば大きく印刷してもらえますか？それとも模造紙を買ってきて書かなくてはいけないのですか？

(事務局)

印刷できます。早めに原稿をいただき拡大します。

(委員)

マスクをしてのコミュニケーションは厳しいです。例えば買い物に行った時に「カードありますか？」「袋いりますか？」と、ちょっとした言葉が聞き取れないです。だいたいの予想はできますが、コミュニケーションするのは難しいです。マスクを外すわけにはいけないし、口元を見たいので不織布マスクをずらすとじろっと白い目で見られたりします。難聴児だけでなく肌のトラブルとかいろんな理由でマスクが難しい人、マスクを外してコミュニケーションを取らなくてはいけない人がいることを知ってもらいたいです。啓発ができればと思っています。

(委員)

困っていることを展示し啓発することは必要だと思います。

(委員)

宝塚市難聴言語障害児親の会ですが、今は集まらない状態です。展示をすることは必要だと感じていますが、時間も迫っているので何かを作成するのは厳しいと考えています。

(委員)

来年度、啓発のポスターを書いて展示したら良いと思います。1年間あれば取り組みます。

(事務局)

新型コロナウイルス感染症の特集を書いてくださるということですが、実際に感じている声のコーナーを作ったらどうでしょうか？A4、1枚にマジックで自分の体験、自分が思うことをそれぞれ書いて、それを持ち寄って上手に貼ったら模造紙1枚になると思います。宝塚市難聴言語障害児親の会さんも「子どもたちの思い」として、簡単に書いて貼ったら、『子どもたちは大変なのだ』と伝わると思います。立派な形にしようとする時間がかかり、人が集まらないといけないという考えになりますが、個々に書いた意見をうまくアレンジして貼れば、恰好がつくと思います。新型コロナウイルス感染症のことは今だと思います。新型コロナウイルス感染症は、来年はないと言いたいです。ワクチンが出てきて、考え方も変わるかもしれません。新型コロナウイルス感染症に対して聞こえない人がどんな思いをしているか、新型コロナウイルス感染症をきっかけにマスクが当たり前になりましたが、その当たり前が聞こえない人にとって、どれだけ生きにくい社会になったかは、今訴えないといけないと思います。新型コロナウイルス感染症に対してのコーナーを設けて、例えば成人の方、子どもたち、関わる方などの形で、色画用紙を何枚か用意して、個々に書いたものを上手に貼っていくという展示も良いのではと思います。

(委員)

今、しなくてはならないことは切に分かりますので、宝塚市難聴言語障害児親の会の皆さんに実際の思いを小さな紙に書いてもらうようお知らせをして、現地会場で貼る方法を考えようと思います。

(委員)

宝塚市難聴言語障害児親の会や宝塚ろうあ協会から集めていただいた意見を貼りだすやり方ですね。

(事務局)

全国的な動きのものについては、模造紙に直接手書きされますか？

(委員)

パソコンで作ったものを大きくしてもらうのが一番楽です。

(事務局)

2月26日に展示の準備をします。来られる方はこの日に集まって、皆さんで貼り付け作業を一緒にしては良いかがでしょう。

(委員)

皆さんで話し合っ作るのは、時間を合わす必要があります。

(事務局)

メッセージが貼れる大きさがどれくらいになるか、先に案を作っていたら、みんなが集まらなくてもできると思います。

(事務局)

イメージの共有は難しいと思いますので分担しましょう。担当委員には新型コロナウイルス感染症の全体、新型コロナウイルス感染症を通して全国的な状況、聴覚障碍(がい)の学生の実態など大きなものを取り上げて1枚作っていただいたら良いと思います。その隣に模造紙1枚に今感じている声を書いたメモ用紙を貼っていく。A4の色画用紙など1枚に形作った紙に書いてもらう。宝塚市難聴言語障害児親の会に「マスクがあることで困っていること」、「新型コロナウイルス感染症に対して思ったこと」などをテーマに自由に書いてきていただく。それならあまり協議しなくて作れます。宝塚ろうあ協会にも同じように思ったことを書いてきていただき、集めて模造紙1枚に貼り、上にタイトルをつけるので良いと考えています。

(事務局)

事前にある程度集めて、準備したものをいただいて、2月26日に貼るようにしたいです。少しだけ早めにいただくことはできますか？

(委員)

明日サークルがあります。その時にろう者が5~6人いらっしゃるので、アンケートの形で意見を聞いて集めます。

(委員)

よろしくをお願いします。

(委員)

(4) 第3回手話言語発表会について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

手話言語の取り組みを進めていきたいと思っています。新型コロナウイルス感染症が収束していることは難しいかもしれませんが、感染防止対策を行ったうえで何とか実施できないかと考えています。出場者と見に来られる方の両方の感染防止対策を実行委員会の中で検討しながら、実施の方向で調整したいというのが事務局の思いです。来年度、手話言語発表会を実施するのか？実施するなら場所を決めていけたらと考えています。実施する場合は来年度実行委員会を設置し、その中で詳細を決めていきたいと思っています。

(委員)

質問ですが、今回は発表会ですか？講演会ですか？

(事務局)

1年毎に発表会と講演会を実施していて、今年度はオンラインでしたが講演会を実施したので、来年度は発表会を考えています。

(委員)

前回の発表会は楽しくて、皆さんに手話を知っていただく機会があるのはありがたいと思いました。できれば実施していただきたいですが、状況次第ですね。良い形で多くの方に手話を知ってもらえればと思うのですが、何か良い案を逆に聞きたいです。

(委員)

例えば当日会場で発表するのではなく、前もってビデオ撮影をして、それをオンラインで流す、オンラインが苦手な方もいるのであれば日を決めて、上映会の形にしても良いと思います。劇などを発表するために人が集まるとか、見る人も集まるとかは避けた方が良いと思います。

(委員)

今年度はいろんな行事が中止になったので、来年度は実施できれば良いと思います。4月の実行委員会が立ち上がる頃には、ある程度見通しができると思います。それぞれのグループが自分たちでビデオを撮ってそれを集めて流す方法で良いと思います。技術的にできるかはわからないのですが、やる方向で考えてみるのも大事だと思います。やめるのは簡単です。具体的に何ができるかは状況が分かってからでも良いと考えています。サークルの活動もなかなかできていない状況で、皆さんの意見も聞けていないのですが、新型コロナウイルス感染症と共存していかないといけないことはたくさんあると思うので、やる心づもりをすることは必要だと思います。

(委員)

やりたい気持ちは沢山ありますが、心配もあるということですね。前もって録画する方法もありますが、私は当日会場の方が良いと思っています。当日会場を実施する方向で準備を進めておいて、状況によって動画に変える方法はできませんか？

(事務局)

今日の段階においては当日会場で実施の方向で進めておいて、実行委員会等で検討した結果、最終的に録画したものの上映に切り替えることは可能だと思います。逆にオンラインにしておいて、事前会場を押さえずに、急遽当日会場に変更するのは難しいと思います。

(委員)

当日会場で実施の準備をしておいて、実行委員会を立ち上げて、夏の終わり頃に状況が分かるとしますので、実行委員会で検討してもらうことでよろしいですね。

(事務局)

場所についてご意見はありますか？公民館でよろしいですか。去年は中央公民館、その前は西公民館で行いました。

(委員)

劇場や映画館は座席の間隔をあけていますので、たくさんの方に見ていただくために広いところが良いと思います。宝塚市の中で一番広い公民館はどこですか？

(事務局)

西公民館は狭いです。去年は中央公民館でしたが、人数的にいっぱいでした。出入りが多く、なかなか座れません。一番観客席が大きいのは東公民館です。舞台は観客席から高いです。開催日と空いている状況が一致する公民館を探すのが毎年度大変です。今の時点ではまだ予約することが出来ません。夏になっても難しい場合があります。場所を公民館と決め

ていただき、日にちが決まれば、あとは事務局で空いている公民館の中でできるだけ広いところを確保できればと思います

(委員)

仮に、公民館で、当日実施したとしても、座席数が半分になり、先着順とか、各団体何人までとか、人数を制限しなければならないと思います。手話を広めるという観点から録画しておいて、そこに行けなかった人のためにオンラインで見られるようにした方が良いと思います。

(委員)

参加してもらう団体にもオンラインの許可をいただくということですね。

場所の第一候補は東公民館でよろしいですか？

(事務局)

東公民館は駅から少し離れています。駐車場はありますが、有料で中央公民館ほど広くないです。公民館の収容人数は実際の定員数の半分です。別室でプロジェクターを通して見られるように市役所にある設備でできると良いですが…。参加人数を考えたら、別室でも映像が見られるようにすることも一つだと思います。ベガホールは 380 人入れますが、費用が高いので予算的に無理です。当日会場で撮影したものを編集して、You tube に載せることは以前もしたのでできると思います。宝塚市手話言語発表会の 1 回目は広報課を通じて作成し、2 回目は委員の協力で今でも見ることができます。報告の形でホームページに載せられたらと思います。できれば中央公民館で、別室でも見られる技術が可能かを確認して対応したいと思います。

(委員)

場所に関しては事務局にお任せするのでよろしいですね。

(事務局)

実施の方向でご意見をいただきました。その方向で場所は事務局で検討します。また新年度が始まりましたら、実行委員会を招集させていただき、詳細はそちらでご報告しながら決めたいと思います。

(事務局)

今回は令和 3 年 7 月 15 日木曜日 18:30~20:30 です。新型コロナウイルス感染症の状況によって会議の時間が 2 時間になるか、短くなるのかは、また状況を見て連絡させていただきます。

以上